

第 1 号議案

平成 27 年度事業報告書

公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう
支援する事業

1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

(1) あかね荘事業

① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。

実績 : 延べ 19 人 (実数 2 人) の方が利用

② 自立訓練 (生活訓練) 事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ 9,365 人 (実数 63 人)、宿泊での延べ利用者 11,985 人 (実数 61 人) 方が利用し、うち 14 人が地域で自立した生活を送っています。

③ 相談支援事業

一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方 (障がい者、家族等) からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ 798 人の方が利用

(2) あかねワークセンター事業

① 就労継続支援 (B型) 事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ 4,667 人 (実数 28 人) の方が利用

② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対しての偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しました。

実績 : 利用者数 8,123 人 30 団体が利用

(3) あかねホーム事業

① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,222 人（実数 11 人）、の方が利用し、うち 2 人が地域で自立した生活を送っています。

2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

(1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、当法人の業務として県内の精神科病院が当番制で行いました。当番病院には、相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、電話相談に関する統計分析を行いました。統計は、時間帯別、依頼者別、対象者性別、曜日毎、対象者住所別、所要時間別に作成・分析し、結果を協会ホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。この分析結果は、住民への周知状況の確認や相談員の対応能力向上のための研修会等に活用し、事業の充実につなげました。

また、精神科救急情報センター研修会も実施しました。

実績 : 27 年度相談対応件数は 1,163 件

研修会は平成 27 年 7 月 30 日（木）に実施。

場所は県庁新館 2F 201 会議室 参加人数 91 人

(2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけではなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績 : 27 年度救急患者数は 905 件（助言指導 335 件、外来受診 317 件、入院 200 件、その他 53 件）

1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

(1) 院長会 年 6 回開催 (5/26,7/23,9/17,11/27,1/21,3/24)

: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見集約を行いました。

(2) 学術研修小委員会 学術講演会を年 5 回開催

: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。

(3) 看護部小委員会 研修会を年 2 回開催 (5/21、12/17)

: 看護部小委員会は、研修会の企画・運営と関係機関への協力を行いました。研修会は 2 回実施しました。九精協の看護部長会議や熊本県精神科救急情報センター相談員研修会への役員派遣を行いました。また協力事業として「心のフェスタ」へ参加協力しました。

(4) 栄養部小委員会 研修会を年 2 回開催 (7/10,2/25)

: 会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会を行いました。また、非常食提供マニュアル(案)を作成し、災害時に連携をとれるよう準備を行いました。

(5) コメディカル部小委員会 研修会を年 2 回開催 (7/3,12/1)

: コ・メディカル部会に登録頂いている、各医療機関のコ・メディカルスタッフ向けに年に 2 回、研修会を企画し開催しました。協力事業として、「心の健康フェスタ」での相談コーナーなどに部会委員を派遣致しました。

(6) 薬剤部小委員会 研修会を年 1 回開催 (3/19)

: 会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会を実施しました。

(7) 事務長会 研修会を年 4 回 (6/25,9/15,11/25,3/25)

: 会員医療機関に勤務する事務長等を対象に医療経営管理等について研修会を実施しました。

(8) 診療・介護報酬委員会 日精協伝達講習会を実施 (3/25)

: 平成 28 年度の診療報酬改定に関して会員医療機関に勤務する職員向けの研修会を実施しました。また診療報酬に係る質問等への取り纏めと回答を行いました。

(9) その他各種委員会

: 熊本県・熊本市等の開催する検討会への委員派遣、内容検討についての意見具申等を通じて当協会の精神保健医療福祉に関する考え方の実現を図りました。

2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。協会誌のホームページ掲載化も行いました。
協会誌編集委員会 4回実施（6/3、9/2、12/2、3/2）

3 精神障害者リハビリ事業

(1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）を開催しました。

第13回くませいフェスタ

- ・参加人数 1,485人
- ・開催日 平成27年6月18日（木）
- ・会場 パークドーム熊本

(2) 作品展示への事業協力（コメディカル部小委員会）

- ・「第53回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力
平成27年10月23日 くまもと森都心プラザ プラザホール
- ・「第23回精神障害者作品展示会」における作品展示に協力
平成27年9月13日 下通りアーケード

その他事業2	: 県・市からの委託事業
--------	--------------

1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県下5件（内熊本市3件）

2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会開催事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域移行推進員による退院に向けた個別支援を提供する事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るため、研修会を行いました。

実績

- ・高齢者入院地域支援事業
熊本市関係 参加病院3病院
- ・地域体制整備アドバイザー配置事業
熊本市関係 3名配置
- ・退院支援生活環境相談員等研修会を実施
平成27年12月10日（木）・11日（金）
場所 熊本県庁本館地下大会議室 参加人数 130名

その他事項	: 関連団体への支援事業他
-------	---------------

1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
 - ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
 - ・第53回熊本県精神保健福祉大会開催（10/23）協力支援
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業
 - ・精神保健福祉センター主催の研修会等への協力支援

2 共催・後援

- ・H27年度うつ病に対する医療連携のための研修会
一般かかりつけ医と精神科医との医療連携体制強化のための研修会を県と共催で開催しました。

3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- (審査会等への出席) 熊本県精神医療審査会など
- (会議等への出席) 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など
- (研修等への協力) 熊本県介護支援専門員更新研修への講師派遣
- (医師等の推薦) 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医等の推薦
- (その他) くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協
- (2) 日精協 熊本県支部

5 その他

- (1) 会員の入会・退会について
 - 入会：なかふさ心療内科・光の森（27/7/1）、メンタルクリニック保田窪（27/8/1）
光の森メンタルクリニック（28/1/1）
 - 退会：鹿井医院（28/1/31）
- (2) 要望等について
本年度はありません
- (3) 報告事項

・30百万円の土地購入についての経緯について（27年6月11日購入）
周辺の住宅・商業地化が進む中で、既存事業を継続しながら老朽化したあかね荘の建て替えを行う場合、新たな土地の取得が必要であります。また、多くの障がい者があかねの里を生活の拠点として利用している現状から、穏やかな生活と病状の安定化には周辺の景観やゆとりある空間確保が必要不可欠であります。

今回、協会所有地に隣接した土地売却が売主からもたらされ、隣接地の購入は将来のあかねの里の提供サービスの充実強化に備え是非とも購入をしておきたい物件であります。当面この土地は、手狭となった多目的ホール利用者の駐車場や授産活動の耕

作地、各種イベント用地として利用価値があることから、平成 26 年 1 月 23 日の理事会で満場一致で購入を承認されたものであります。価格：31,174,000 円 畑 1204 m²
・施設整備等積立預金について

今期土地取得資金をして減少した金額 31,174,000 円に見合った分、施設整備積立計画期間を以下のように 3 年延長することにしました。3 年間延ばしても運営に支障はございません。また延長によって既存建物の耐用年数には特に問題はありません。

変更前：計画期間 平成 24 年度から平成 43 年度（20 年間）毎期積立予定額

変更後：計画期間 平成 24 年度から平成 46 年度（23 年間）

1 学術講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	「レビー小体型認知症の診断・治療のポイント」	熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 准教授 橋本 衛 先生	H27 年 7 月 23 日
2	「最近の精神保健医療福祉の動向と地域移行」	医療法人河崎会水間病院理事長・日本精神科病院協会副会長 河崎 建人先生	H27 年 9 月 17 日
3	「うつ病の Outline：うつ病の多様性からストレスチェックまで」	産業医科大学精神医学教室 教授 吉村 玲児先生	H27 年 11 月 27 日
4	「不安障害における抗うつ薬の役割」 「精神科と専門医制度」	八代更生病院 副院長 阿部 恭久先生 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野 教授 池田 学 先生	H28 年 1 月 21 日
5	「精神科医療における現行の診療報酬制度を問う～持効性注射剤の経営的メリット」	西脇病院 理事長・院長 西脇 健三郎 先生	H28 年 3 月 24 日

2 研修会

(1) 看護部小委員会研修会（第 68 回・第 69 回）

	開 催 日	会 場	内 容
1	H27 年 5 月 21 日 第 68 回研修会	嘉島町民会館	講演「看護管理～人材育成～」 講師 熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 准教授 安浪 小夜子先生
2	H27 年 12 月 17 日 第 69 回研修会	嘉島町民会館	講演「部下の本気を引き出す、ほめ方、しかり方」 講師 AE メディカル 代表取締役 野津 浩嗣先生

(2) 栄養部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H27年7月10日	(株)ハウディ第一別館	講義「老年期低栄養について～サルコペニアを中心に～」 講師：熊本リハビリテーション病院 吉村 芳弘 先生
2	H28年2月25日	(株)ハウディ第一別館	講義1「認知症の治療とケア～食事面でのケアを中心に～」 講師：熊本大学大学院 神経精神医学分野 助教 石川 智久 先生 熊本大学医学部附属病院 看護師 板橋 薫 先生

(3) コ・メディカル部小委員会研修会（第49回・第50回）

	開催日	会場	内容
1	H27年7月3日 第49回	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「精神科医療」のコンテクストを変えていく 講師：熊本県立こころの医療センター医長 渡邊雅文先生
2	H27年12月1日 第50回	熊本テルサ	講演：「退院支援 ～それぞれの職種の視点から～」 講師：熊本県障がい支援課 参事 阿蘇品 かおり氏他

(4) 薬剤師部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H28年3月19日 第27回	富田薬品(株) 熊本本社	「クロザリルの適正使用について」 講師：特定医療法人佐藤会 弓削病院 副院長 西山 浩介 先生

(5) 事務長会研修会・(3/25診療・介護報酬委員会含む)

	開催日	会場	内容
1	H27年6月25日	熊本テルサ	講演：「精神科病院実地指導について」他 講師：熊本県障がい者支援課 課長補佐 吉永 圭一氏ほか 熊本市障がい保健福祉課

			室長 高取 直樹氏ほか
2	H27年9月15日	くまもと森都心プラザ	講演：ちょっと待った！「持分なし」への移行はまだ早い？ 「持分あり」から「持分なし」への正しい移行の考え方と解決策 講師：森田茂伸（税理士・CFP） 税理士法人森田事務所 代表
3	H27年11月25日	ホテル日航熊本	講演：「精神科における平成24年改定の影響と今後の精神保健制度改革と診療報酬改定の行方と対応策」 講師：酒井 麻由美（㈱ヘルスケア経営研究所副社長
4	H28年3月25日	火の国ハイツ	講演「平成28年度診療報酬改定について」 講師：熊精協診療報酬・介護報酬委員 松浦 弘樹 氏

平成27年度 あかねの里 事業実績

1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

* あかね荘はH27年7月1日より定員数を40名に変更

2 月別利用者実績

月別 利用者 数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセン ター		計	
	H26年度	H27年度	H26年度	H27年度	H26年度	H27年度	H26年度	H27年度
月	人	人	人	人	人	人	人	人
4	75	73	10	8	30	23	115	104
5	69	74	10	8	29	22	108	104
6	77	72	10	8	30	22	117	102
7	75	73	9	7	31	22	115	102
8	75	77	9	6	28	23	112	106
9	75	75	8	7	29	23	112	105
10	81	75	7	7	29	25	117	107
11	85	81	9	7	24	24	118	112
12	87	82	8	6	25	24	120	112
1	87	82	8	7	25	26	120	115
2	90	83	9	7	24	25	123	115
3	82	75	8	7	22	25	112	107
計	958	922	105	85	326	284	1389	1291
平均利用者数	80	77	9	7	27	24	116	108

* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

3 利用率					(単位:人)	
事業所名	提供サービス		H26年度	H27年度		
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	9,516	9,365		
		1日平均利用者	35.4	34.7		
		利用率	70.8%	81.6%		
	宿泊型自立訓練	延べ利用者	12,053	11,985		
		1日平均利用者	33.1	32.7		
		利用率	66.2%	76.9%		
あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,720	2,222		
		1日平均利用者	7.5	6.1		
		利用率	75.0%	61.0%		
あかねワークセンター	就労継続支援B型	延べ利用者	5,238	4,667		
		1日平均利用者	20	17.3		
		利用率	66.6%	57.5%		
合計		延べ利用者	29,527	28,239		
		1日平均利用者	96	90.8		
		利用率	68.6%	72.6%		
* 利用率: 対定員数						
* あかね荘はH27年7月1日より定員数を40名に変更						

4 障害種別利用者数(受給者証標記)						(単位:人)
	精神	知的	重複	計	備考	
あかね荘	54	5	4	63	重複の内訳: 2(身体・精神)、2(知的・精神)	
ホーム	8	2	1	11	重複の内訳: 1(知的・精神)	
ワークセンター	26	1	1	28	重複の内訳: 1(知的・精神)	
計	88	8	6	102	重複の内訳: 2(身体・精神)、4(知的・精神)	
* 人数は実数						

5 あかねの里隣接地の土地購入
あかねの里周辺の住宅化・商業施設化が進む中で、提供サービスの充実、強化等に備え平成27年6月11日あかねの里隣接地(協会所有地に隣接した土地)の不動産売買契約を地主、協会間で締結した。同年8月4日所有権移転登記が完了。 手狭となった多目的ホール利用者等の駐車場や授産活動の耕作地、各種イベント用地として整備した。
(購入地) 地番: 熊本市東区戸島西三丁目3375番1 面積: 1,204㎡ 地目: 畑
6 台風災害によるの改修工事
台風15号(平成27年8月25日)による建物被害が発生したため、以下の改修工事を実施した。
(1)あかね荘 屋上防水シートと駐輪場の屋根が強風により全面破損
(2)あかねワークセンター 駐輪場の屋根と外灯が強風により一部破損
工事総額: 6,200,000円
7 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上
(1)利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定 (2)個別支援計画に基づく統一支援の徹底 (3)利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底 (4)スーパービジョンによる支援の徹底 (5)サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示システムの徹底 (6)相談支援事業所との連携強化

8 見学者の受入実績			
月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	1	2	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学
5	7	28	
6	4	12	
7	4	12	
8	6	25	
9	8	26	
10	4	16	
11	5	12	
12	1	3	
1	3	7	
2	1	2	
3	5	16	
計	49	161	
1ヶ月平均	4	13	

* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

9 職員配置基準数(平成27年4月1日現在)								
専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者	1	1		1			1	
地域移行支援員		13						
生活支援員	2						3	
職業指導員						1		1
世話人				5	1			
事務員		1						
実人数	20					6		

* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

10 住居について

	入所前の住居について(H27年度新規利用者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘		6	1				17		24
あかねホーム						3			3

	退所後の住居について(H27年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	3	3	6	1		1	10	1	25
あかねホーム	2						2		4

11 日中活動について

	退所後の日中活動について(H27年度訓練終了者)								
	就労		B型事業所	就労移行	病院デイケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	一般の事業者に雇用(障害者雇用含む)	A型事業所							
あかね荘	3	3	3	1	3	1	10	3	27
あかねホーム	1	1					2		4
あかねワークセンター		1			1		1		3